

「お尻ふき」の歴史は世界中で様々

日本では温水洗浄トイレが普及し、海外にまで売り上げを伸ばしていますが、インドや東南アジア、アラブでは古くから水でお尻を拭く習慣があります。

モンゴルの砂漠地帯では、砂を使用したり、

馬の糞を乾燥させてお尻を拭いていました。草食動物の糞は繊維質が多く、乾燥させると紙に近い機能を果たせたものと思います。

また、アメリカの先住民はトウモロコシの茎を割ってヘラのようにして使っていました。

お尻を拭くためだけに作られた現代のトイレットペーパーはいかに贅沢なものであるかお解りでしょう。